

加太の海をイメージした“めでたい”でんしゃが泳ぎだす！ 水色の「めでたいでんしゃ」今秋デビュー！

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、平成26年11月から、加太観光協会および磯の浦観光協会と共同で、加太線沿線の魅力を発信するプロジェクト「加太さかな線プロジェクト」を進めており、平成28年4月からは同プロジェクトの目玉となる観光列車「めでたいでんしゃ」を運行しています。

このたび、水色の「めでたいでんしゃ」が仲間入りし、10月7日（土）から運行を開始します。ピンク色の「めでたいでんしゃ」をベースに加太の海をイメージした装飾を施し、電車に乗っているながら、まるで海の中にいるような気分が味わえる、加太線にぴったりの観光列車です。

ぜひ、加太さかな線で“めでたい”旅にお出かけいただき、ピンク色と水色の“めでたい”でんしゃに出会ってください。

1. 水色の「めでたいでんしゃ」の概要

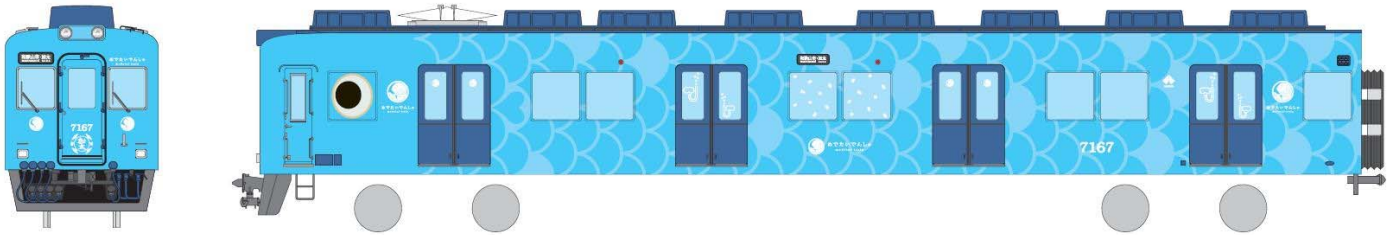
加太線ワンマン車両（7100系2両1編成）の内外装に装飾を施し運行します。水色の「めでたいでんしゃ」の中には、かわいい海の生き物がいっぱい。楽しい仕掛けもいっぱい。「めでたい」がいっぱい詰まった電車です。

- (1) 運行開始日：平成29年10月7日（土）
- (2) 運行区間：和歌山市駅～加太駅間

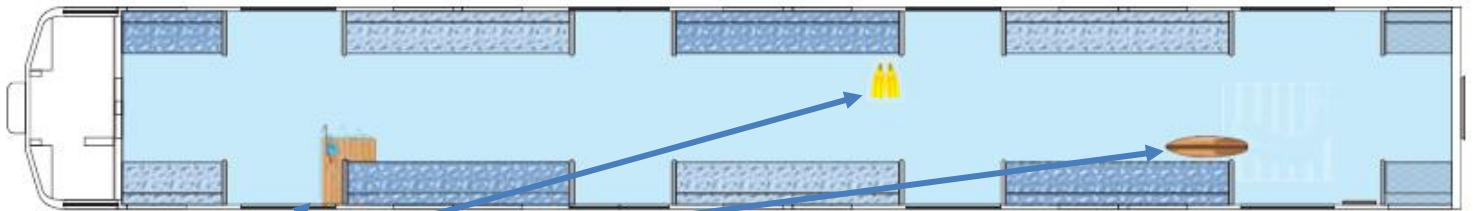
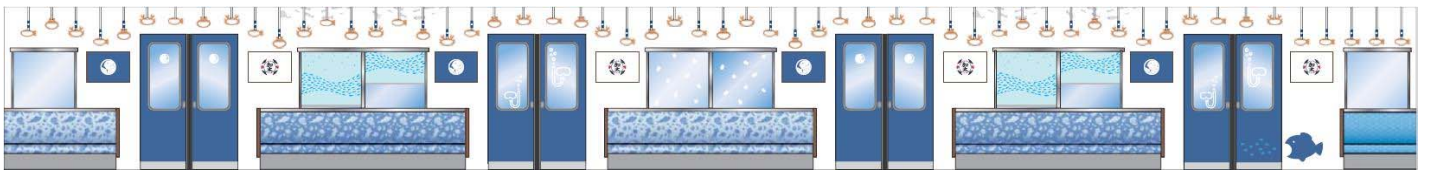


(3) 外装デザイン：ピンク色の「めでたいでんしゃ」をベースとしたうろこ柄の車体を水色に塗装し、海をイメージしたシンプルかつかわいいデザインに仕上げました。

※基本のデザインはピンク色のめでたいでんしゃと同じですが、列車の窓の装飾が一部異なります。



(4) 内装デザイン：全体を青基調のデザインで統一し、各所に海の生き物を散りばめ、海の中に来たような「心地よさ」と「ドキドキ感」を演出します。



床面

海をイメージした水色の床に、釣り場、フィン、サーフボードを描きました。



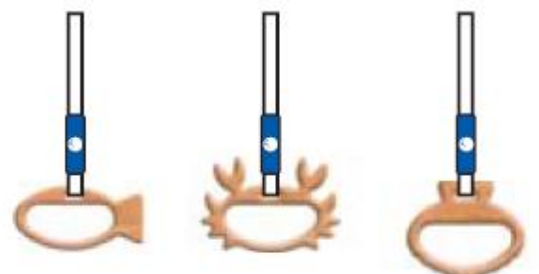
座席シート

海の生き物や、波模様をイメージした3種のオリジナル柄です。



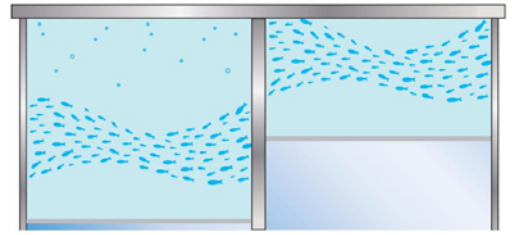
つり革

海の生き物（さかな、かに、貝）をデザインした木の素材のつり革です。



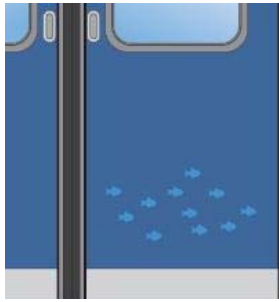
ロールカーテン

魚群が泳いでいるように見えるカーテンです。

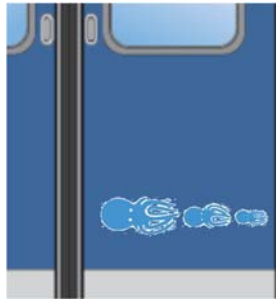


扉

扉の横には開閉に連動した仕掛けや、窓を通してシュノーケリングしているように見えるステッカーを配置しました。



扉が開くと大きなさかなが
小さなさかなを飲み込みます



扉が開くとタコが蛸壺に
入っていきます



人が立つとシュノーケルを
しているように見えます

(5) 「めでたいでんしゃ」の特設サイト URL : <http://www.nankai.co.jp/kada/medetai/>

<ご参考>ピンク色の「めでたいでんしゃ」について

平成28年4月29日に運行を開始した加太線を走る観光列車です。車内外を「加太の鯛」と「淡嶋神社の縁結び」をイメージして装飾しており、乗るだけでおめでたい気分になる＝「おめでたい」、ずっと乗っていたくなる＝「愛でたい」電車です。

運行開始1年を迎えた平成29年4月29日には「1歳のおたんじょうび会」を開催するなど、地域に親しまれる観光列車として多くのお客さまにご利用いただいています。



以上